

Tom's

VOL.16
SPRING 2011

特集

Let's Enjoy! キャンパスライフ

富大生の一目
学生生活の強い味方

地域から
応援メッセージ

巻頭インタビュー
遠藤新学長が語る

研究者紹介 ハロ〜先輩
Tom's History Tom's 薬箱 Tom's Gallery



Tom's Gallery

トムズギャラリー



富山大学芸術文化学部 第2回卒業制作展
「GEIBUN2 百花繚乱」(芸術文化学部)

- 01 第1展示室では工芸、絵画、彫刻作品などを展示。
- 02 第2展示室ではプロダクト、グラフィック、建築作品などを展示。
- 03 第3展示室では家具や生活日用品などを展示。
- 04 市民ギャラリーではメディアアートや卒業論文などを展示。

昨年(2010年)に引き続き第2回目となる富山大学芸術文化学部の卒業制作展が高岡市美術館で2011年3月9日から23日まで開催されました。「GEIBUN2 百花繚乱」をテーマに、学生生活4年間の集大成である作品・卒業論文など約110点が展示され、会期中には各界で活躍するゲスト講師による講演会・公開講座も行われました。

(芸術文化学部 講師 横山天心)

編集後記

本号では異なる学部・学年の富大生4名のキャンパスライフと、学生支援体制についてご紹介しました。また、日頃お世話になっている地域の皆様から富大生へ温かいメッセージをいただきました。桜、タンポポなどの花が咲き、木々は芽吹き、林や森全体が新緑で装われる、いつもの年と変わりのない美しい春の訪れですが、春も間近の3月、東北地方太平洋沖地震などにより、多くの方々の夢、希望、そして日々の幸せが一瞬にして失われてしまうという、辛く悲しい春になりました。新入生の皆様には、新しい生活に慣れるとともに、早い段階で夢・目標を定め、その実現のための有意義な学生時代を送ることで、是非とも実り多い幸せな人生を過ごされることを願って止みません。(岩坪 美兼)

トムズプレスサブタスクチーム

- 岩坪 美兼 大学院理工学研究部教授
- 坂田 博美 経済学部准教授
- 田村 了以 大学院医学薬学研究部教授
- 矢倉 隆之 大学院医学薬学研究部准教授
- 貴志 雅樹 芸術文化学部教授

- 本誌は、富山大学構内などで無料配布しています。郵送を希望される方は、本誌綴じ込みはがきにてお申し込みください。
- 本誌は、年4回、3カ月毎に発行します。ご意見、ご要望をぜひお聞かせください。

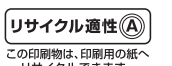


発行日 平成23年3月31日
発行 国立大学法人 富山大学
問合せ先 富山大学総務部広報グループ
〒930-8555 富山市五福3190 TEL076-445-6027 FAX076-445-6063
E-mail kouhou@u-toyama.ac.jp

Tom's Press はインターネットでもご覧いただけます。 <http://www.u-toyama.ac.jp/>

※表紙に登場いただいた学生さんたちは、富山大学ダンス部の皆さんです。

印刷・製本 株式会社オダケ印刷社



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

遠藤新学長が語る 「学生諸君、夢を持って、そしてよく遊ぶべ」



平成23年4月、富山大学に遠藤俊郎新学長が就任。
更なる飛躍・成長を目指す富山大学の現在と未来、
そして、大学の主役である富大生たちへ
遠藤新学長の思いを語っていただきました。

再編・統合から5年 「新生富山大学」のいま

平成17年10月、全国初の3つの国立大学の統合・再編により、富山大学は8学部10部局を有する総合大学となりました。大学の使命である充実した教育、総合力を生かした多面的・発展的な学習機会の提供が可能となり、様々な分野で社会貢献が行えると考えております。

しかし、5年経った今でも、授業や学内行事、運営に関する事柄など未だ各キャンパスごとで行なわれているのが現状で、統合はまだまだ不十分といえます。今後は、総合大学となった富山大学の特色を最大限に活かすためにも、もっと一つの大学として機能していくことが大切だと感じています。

人との絆を大切に、3キャンパスが 一体となった大学づくり

私は旧富山医科薬科大学時代から30年あまり、様々な臨床活動を行ってきました。

手術の際には、「患者さんを救いたい」という強い思いのもと、積み重ねた知識と経験、様々なリスクを予測した綿密な戦略、あらゆる状況に対応し、最良の結果につなげる実行力・決断力が必要なのですが、これは大学運営にも通じることだと思います。

「今の富山大学を何とか元気にしたい」という学長としての強い気持ち、信念を形にするために、課題・難題に思いきってメスを入れる「外科的治療」をしていきます。そして、大学のこれまでの歴史や、統合してからの5年間の実績をベースに、今後富山大学が「丸」となって成長するための戦略を改めて見直していきます。そのためには、何よりも周囲との絆が大切。互いに信頼関係を築きながら、富山大学と地域・社会にとって、最適な方向性を示していきたいと考えています。

具体的なプランの一つとして、サークル活動の在り方について、ひと工夫できたらと考えています。富山大学では同じ種類のサークルが、各キャンパスごとに活動しているのです。練習場所や時間の制約で難し

い面もありますが、ぜひとも3キャンパス合同のベストチームをつくり、富大チームとして全国を目指してもらいたいと考えています。

また、現在キャンパスごとに設置されている運動施設や、文化系サークルが活動していきたくと考えています。例えば、テニスコートが整備されたキャンパス、音響設備が充実しているキャンパスなど、富山大学としての素晴らしいフィールドを、3つのキャンパスに分担して設ける。学生がそれぞれの目的に合わせて各キャンパスを自由に行き来して、練習・トレーニングできる環境を整えれば、他のキャンパスとの交流機会も増えるはずです。

学生時代は人生の遊びも 学んでほしい

学生に伝えたいのは「夢を持って、そしてよく遊ぶべ」ということです。

人は長いスパンで考えられる夢があってこそ、はじめて今後の目標が見えてきますし、

自分が今どのレベルにいるかを見極める自己評価力や、長所を伸ばすための自主性も身に付けていきます。大学生活では、自分の能力をどう発揮するかを一人ひとりが考えて、夢を実現するために今何をすべきか、ということを意識しながら行動してほしいと思います。

また、大学生のうちに人生の遊びも学んでほしいと思います。できれば全学生が部活動・サークルに入り、真剣に取り組んでもらいたいですね。授業以外の活動や交流を通して、チームワークや努力することの充実感、スポーツであれば競争心など、必ず何か得られるものがあるはずです。精神力や感性を養うためにも、しっかり遊んで下さい。

■ 遠藤俊郎新学長プロフィール
昭和21年生まれ。仙台市出身。昭和46年東北大学医学部卒業。54年に富山医科薬科大学(現富山大学)附属病院手術部助教授、55年に医学部脳神経外科学講座助教授、平成11年に同講座教授。17年に富山大学附属病院副院長、21年に病院長を歴任し、23年4月から富山大学学長。医学博士。専門は脳神経外科学。趣味はスポーツ。観戦よりも自分でやる方が好きで、休日にはクロスバイクを楽しむ。

特集 Let's Enjoy!

大学では、やりたいことが自由にできる環境が整い、さあ、富山大学での毎日を思いきり楽しみましょう!

キャンパスライフ

学びも遊びも、活動範囲がグンと広がります。



アイスホッケーってカッコいいスポーツです!

23:00~
週1回、富山市内のスケートセンターで練習しています。深夜の練習なのは、リンクの使用料金が安い時間帯だから。

ふりこを使って、重力加速度が一定であることを確かめました。

14:45~
「基礎地球セミナー」の授業で実験をする
1年生では専門分野の基礎や、文献の調べ方、プレゼンテーションの方法などを学びます。

18:00 17:00 16:00 15:00 14:00 13:00 12:00 11:00 10:00 9:00 8:00 TIME

今日の発表は僕の担当。先生やゼミ生から鋭い質問が飛んでくることも

16:30~18:00
「専門ゼミナール」で課題発表
自分が関心のあるテーマについて調べたことを発表したり、議論したりします。僕は消費者行動論を勉強しています。

この後、企業面接を受けに行く。

13:00~
「経営情報論」の講義を受ける
経済学部は講義形式の授業が多いです。企業で活躍している方々を招いて行う授業もあるんですよ。

「ハキハキと話すことが大切」か覚えておこう

10:30~
今は就職活動の真っ最中。学業と両立しながら、毎日アクティブに活動しています。

木下裕輔さんの二日
きとしたゆうすけ
経済学部3年 富山県出身

大学生活を充実させるのは自分次第! 富大生の充実したキャンパスライフを紹介します。

12:30~
友人と昼食
昼休み、学食はすぐ混んでしまうので、早めに行って席を確保するのが肝心です。

13:00~
総合情報基盤センターでレポート作成

10:30~
ドイツ語の授業

センターには200台以上のパソコンがあって、学生は自由に使うことができます。

アイスホッケー部のマネージャーをしています。今日は夜から試合に行きます。

8:30~
登校して掲示板チェック
掲示板には休講の連絡やレポートの締切日、その他大事なお知らせが掲示されています。

みんなの元気で私も元気になるよ!



19:00~
塾講師のアルバイト
中学生に英語を教えています。

2年生になると毎日のように実習があります。



14:45~18:00
「漆塗装」の実習
2年生では「漆塗り板」を制作して、3年生でその板に絵付けを行います。



13:00~
「現代美術論」の講義を受ける
芸術の歴史やデザインの理論を学ぶ講義もあります。
良い作品を作るには、そういった知識も必要です。

お腹空いた〜今日は何を食べようかな?



12:00~
昼休み
生協の食堂はカフェテリア形式。
自由にメニューを選んで食べられます。

8:45~12:00
「コース共同課題」で杖の持ち手部分を制作

漆工芸を専門に勉強しています。授業や制作で忙しいですが、毎日充実しています!



8:30~
証明書自動発行機で学割証を発行
他にも各種証明書が発行できます。発行するときは学生証が必要だから、忘れないようにね。



くにもとまりな
富大生 漆工芸専攻
芸術文化学部2年 奈良県出身

18:00 17:00 16:00 15:00 14:00 13:00 12:00 11:00 10:00 9:00 8:00 TIME

誰かの役に立つことを目標に研究しています。



18:30~
研究室の仲間と実験で気になったことについて英語の文献等を調べる。



16:30~
卒業研究の実験
卒業研究は4年生から始まり、薬学科の場合は6年生まで3年間かけて行います。
僕はうつ病や統合失調症、自閉症といった精神疾患の原因や治療方法について研究しています。



13:00~
服薬指導の実習
薬の説明や対応の練習をします。患者さんを不安にさせないように、話すスピードや声のトーンに気をつけます。



12:00~
昼休み
附属病院にある職員食堂を利用することも。



8:45~
5年生から始まる薬局及び病院実習のための事前学習
処方箋の読み方や医薬品の管理方法などについて学びます。

実家から車で通学しています。薬剤師を目指して日々勉強です。



いしかわゆうだい
富大生 薬学部4年 富山県出身

キャンパスライフをしっかりとサポート



附属図書館
各キャンパスにある図書館は専門書や学習環境が充実。中でも杉谷キャンパスにある医薬学図書館は24時間利用できます。



証明書自動発行機
健康診断証明書や通学証明書など、様々な証明書がその場で発行できます。JRの学割証も発行できますよ。



掲示板
講義に関する連絡事項や試験日程などが掲示されています。見ていなくて後悔しないように、登校したらまずはチェックしよう!



キャリアサポートセンター
就職やキャリア形成に関するサポートを行っています。企業のパンフレットなども充実しています。



留学支援チーム
海外留学や、外国人留学生に対する日本・大学生生活のサポートを行っています。杉谷・高岡キャンパスの教務でも相談できます。



各学部教務窓口
履習のことや学生生活でわからないことがあったら教務窓口にご相談しよう。

学生なんでも相談窓口

専門スタッフがあらゆる相談を受け付けています。履修関係や授業料、課外活動など、さまざまな窓口がある大学。どこに相談したらよいか分からないときは、まずここに。学生一人ひとりの状況や問題に合わせて、電話・メールでの相談、出張相談なども行っています。

学生なんでも相談窓口では、入学時から卒業・修了時まで安心して学生生活を送れるよう、心理士や精神保健福祉士などが支援します。

手続きの問い合わせ以外に、誰に相談したらよいかわからない方や、先生・友達・恋人・家族との関係で悩んでいる方、学業や進路のことで心配な方、生活のトラブルを抱えている方、生

きるのがつく元気がでない方など、いろいろな方の相談があります。必要に応じて（相談者の方に了解を得てから）学内外の関係者と連携して、学生生活をサポートします。また、学生さんやご家族からの相談もお受けします。どうぞお気軽にご相談ください。



学生支援センター
コーディネーター
やしま ふじひこ
八島 不二彦先生



五福キャンパスの相談窓口受付。
卓上の看板が自印。

アクセシビリティ・コミュニケーション支援室

さまざまな障害や特性のある学生の大学生活をサポートするために、各キャンパスで面談・支援を行なっています。また全ての学生を対象としたコミュニケーションサポートや、富山大学PSNSの運営も行なっています。

富山大学PSNSは、富山の学生・教職員なら、誰でも気軽に参加できるオンライン型ネットワークシステム。ブログとして活用したり、メッセージでの相談もできます。また、相談内容によってはスタッフが実際にオフラインで面談でもサポートすることがあります。

オンとオフの2つの窓口から自分の相談しやすい形で、悩みや疑問を打ち明けてくれたらと思います。発達障害のある学生も気軽に訪れて下さい。また、支援室では視覚・聴覚などの障害を持つ学生を手助けするピアサポーターも募集中です。



学生支援センター
特命准教授
よしなが たかし
吉永 崇史先生



富山大学PSNSのログイン画面

学生生活の強い味方

大学生活で困った時、悩んだ時、心と身体を健康をサポートしてくれる場所。富大に広がる学生支援の「輪」を紹介します。

保健管理センター

各キャンパスに医師、看護師、カウンセラーが常駐し、怪我や病気の応急処置や健康・心理相談などを行なっています。感染症予防に関する指導や心理セミナーなども実施しており、心と身体の両面から、健やかな大学生活を支えます。



カウンセラー
たけざわ
竹澤 みどり先生

大学時代はさまざまな悩みを抱える時期。中には漠然と不安を抱いたり、自分の力だけでは手に負えず、判断に困る問題も出てきます。そんな時には、誰かに頼ることも重要な対処方法の一つです。悩みを相談することによって、最終的には自分の力で解決し、自分の成長に近づけていくことも可能です。センターは、身体と心の両方のケアを行える場所なので、辛いと感じた時の頼り先の一つとして、利用してもらえたらと思います。

杉谷キャンパス



カウンセラー
さかい わたる
酒井 渉先生



箱庭療法に使用のおもちゃ。専門家が見守るなか、砂の入った箱庭の中に、自由におもちゃを置く。

医療系の学生は、医療人を志す者として、心身共に健康管理に気を配らなくてはなりません。そのため、調子が悪くても無理してしまう人が多いように思います。また大学で挫折を味わう人もいますが、大学生は失敗してひ参加してみてもいい。

高岡キャンパス



カウンセラー
むらゆみこ
村 由美子先生

芸術文化学部の学生は、内に秘めたエネルギーをどんな形で表現するかなど、制作に関する悩みを持つ人がほとんどだと思います。感受性が強くて繊細な人が多いので、ひそかに傷付けていたりすることも多いと思います。ですが、それは素晴らしい作品を生み出せる力でもあります。密な人間関係を育める環境なので、先生方や友人が大きな支えになるはず。センターでも、健康で充実した毎日を送るための、お手伝いできればと思います。

学生生活は大学内外の、多くの方々との関わりで成り立っています。
様々な場面で富大生を支えてくださっている
地域の方々から、メッセージをいただきました。

地域から 応援メッセージ



笑顔で元気に!

コンビニエンスストア ローソン | 店長 木林 一幸さん
富山大学西門前店

いつも多くの学生さんにご利用いただいています。学生さんの中には、親御さんの負担を減らしたいという理由から、当店でアルバイトをしている子もいて、しっかりしているというイメージが強いですね。辛いことや苦勞を笑顔で乗り越えて、楽しい学生生活を送って下さい。

視野の広い人になろう!

富山地方鉄道市内電車 | 運転士 龍口 磨香さん

『大学前行』の路線では、多くの学生さんに乗車していただいておりますが、皆元気で明るいですね。混雑している車内での気配りやマナーも好感がもてます。これからも思いやりや感謝の心を忘れずに、色々な方向から物事を見て、考えられる人に成長して行って下さい。



体を大切に!

中田書店富山大学杉谷キャンパス売店 | 店長 藤本 幸司さん

様々な書籍に加え、教科書や文具、CD・DVD、生活用品など大学生活に必要なアイテムを販売しています。白衣や解剖用具など、杉谷キャンパスらしい商品もありますよ。学生さんは真面目で目的意識が高く、連帯感が強いという印象があります。皆さんよく勉強をされているので、体に気を付けて下さいね。



有意義な大学生活を!

洋菓子店 シャルロット | オーナーシェフ 安田 吉男さん
富山市古沢

当店は大学ができた2年後に開店し、美味しいケーキ・洋菓子を提供して今年で25年目を迎えます。これまでに、のべ1000人近くの学生さんがアルバイトにきていますが、理解が早く、何事も学ぼうと努力してくれる子が多いですよ。夜遅くまで頑張っている学生さんの姿に、いつも励まされています。大学生活を有意義に過ごして下さい。

様々な実践・体験を!

高岡市金屋町自治会・金屋町弥栄節保存会 | 会長 加藤 昌宏さん

金屋町のHPを一緒に制作しています。学生さんからHPの制作技術を、私たちは金屋町に伝わる弥栄節を教えるなど、交流も盛んです。学生さんには街の新しい見方を教えられました。これからも様々な実践・体験を通して社会を学び、次の時代のリーダーになって下さい。皆さんの活躍が、金屋町の町おこしにもつながれば嬉しいです。



「金屋町楽市inさまのこ」の様子



しっかり食べよう!

生協 学生食堂 | 高岡キャンパス食堂の皆さん

学生さんは大人しくて礼儀正しい印象。食堂では皆きちんと順番を守ってくれています。毎日来られる学生さんも多くいて、健康を気にして体調に合わせたメニューを質問したり、夏に浴衣を着て楽しませてくれる子もいますよ。ご飯をしっかり食べて、学校生活や就職活動のエネルギーにして下さいね。



大学院理工学研究所(理学) 教授
柘植 清志
 つげ・きよし

金属を含む
 新しい物質の
 合成

未来に役立つ 新たな化合物を開拓

紫外線ランプ(ブラックライト)を照らすと様々な色に光る絵画や玩具。また、蛍光灯やカラーディスプレイなど、私たちの身の回りには「発光」を利用しているものが多くある。それらは、人間の手によって合成される発光性化合物が使われている。

柘植教授は新しい構造や性質をもった金属を含む化合物をつくる研究を進めている。金属そのものは銀色のかたまりだが、他の有機物やイオンと組み合わせることにより、何千、何万の多彩な化合物を生み出す。現代の化学の知識は、例えば「鉄で赤色の化合物を作ってください」という依頼には応えられ

るが、好きな金属を使って好きな色で発光する化合物を設計できる段階にはまだ到達していないという。

発光色を自在にコントロール

これまでの研究では身近な金属である銀や銅でも強い発光性を示す化合物ができることが分かっている。柘植教授の研究室では、銅に様々な有機分子やイオンを組み合わせたことにより発光色が非常に大きく変わることを発見。赤から青まで様々な発光を示す銅の化合物が合成できることを明らかにした。銀と銅を混ぜても色が調整できるといふ。「銀にく僅かな銅が加われば発光色は変わります。これまでの研究の結果、銅を二分の一加えただけでも色に影響が出るということが分かっています。安定性などの改善点もありますが、安価でよく光る化合物として将来的に役立つかもしれません」と語る。



紫外線ランプを浴びて光る銀と銅の化合物。少しずつ銅を加えていくことで、色がグラデーションに変化している。左端は銀のみが入った色。右端の化合物には銅が1/400加わっている。

次世代の新たな可能性を

色々な物の仕組みやその変化に興味があったことがきっかけで化学研究者の道を選んだ柘植教授。発光ダイオードや光触媒など、高性能でエコと注目されている製品には化学の力が活用されている。「ナノ材料や銀と銅のような金属同士の相互作用などを使って、新しい観点から今後化学として飛躍するものを、何故そうなるかという理由も踏まえ

て発見してきた。今便利なものが将来飽和状態になってしまった時に、次の可能性を示せるものをつくりたいですね」と意欲を見せる。

化学を学ぶ学生に対しても「実験や分析など地道な積み重ねはありますが、例えば部活動なら一日中でも練習できるように、楽しいことや面白いことは苦にならないはず。難しいなところは、面白いからやりたいやってみよう」と思っていて取り組んでもらいたい」と、エールを送る柘植教授。

もともと好奇心が旺盛で、「専門外のことでも興味があるものはたくさんある」という柘植教授の研究は、豊かな未来を創造する鍵となっている。



近代中国における 「満洲」社会の特徴を解明

歴史的瞬間、という言葉がある。渋谷准教授にとつてのそれは、一九七八年十月に目撃した鄧小平一行だった。田中角栄元首相邸に入ろうとしていた中国最高指導者の車列を偶然見かけたのである。この訪日、中国にとつて改革開放路線に踏み切る大きなきっかけとなったことは、大学で学んで初めてわかったという。「自分が幼いときに見た光景の意義が理解できた時は感動します」と渋谷准教授は語る。これほど大きな経験でなくとも、近代史は現在の国際情勢を読み解く上で最も関係のある分野。いま見ているニュースの意味は、歴史を学んでわかることが多いのだ。

「通説」「常識」を疑う

張作霖は、「馬賊」から強力な軍事指導者になった人物。一般的には「日本の傀儡(かいらい)」と認識されていて、日本でも中国でも蔑視されることが多かった。

しかし渋谷准教授は、「中国の東北全域を掌握するには日本の傀儡というだけでは力足りない」と考えてこの通説に疑問をもち、さまざまな史料を検討しなおした。その結果、馬賊は強奪や誘拐をおこなう一方で、地元

中国を身近に感じてきたことに加え、先祖が「満洲」現在の中国東北地方で商売をしていたこともあって、渋谷准教授は大学時代から一貫してこの地域の独自性を重視



「馬賊」「張作霖」「漢奸」などをテーマに研究成果をまとめた著書と、先祖が所持していた南満洲鉄道株式会社の株券

の有力者から金銭の支援を受け、請け負った範囲内を他の集団の襲撃から守る武装自衛団であったことを解明。張作霖は地元有力者と密接に結びつきながら台頭し、日本からの協力を受けながらも不当な干渉を退ける自立性を持っていたこと、その自立性をめざわりにもった日本陸軍によって爆殺されたことを論証した。

「通説・常識とされていることでも、偏見と誤解であることが多いんです。張作霖は「馬賊あがりの悪人」と思われてきましたが、長男の学良に家庭教師をつけたり、夫人たちの意見を尊重するフエニリストの一面もありました。先見の明がある、魅力的で優秀な



人文学部 准教授
渋谷 由里
 しぶたに・ゆり

中国
 近現代史と
 「満洲」の研究

人物です」と渋谷准教授は語る。

歴史学で大切なことは

「歴史を学ぶのに単純な暗記力はいらぬ。何が、どのような順番で、どうして起こったのかという、ものごとの展開と因果関係を読み解く力、そしてなによりも、子どものような好奇心・探究心が大切」と話す渋谷准教授。史料の少ない大陸浪人※などを調べるときには本人の回想録も参考にしますが、「うそや言い訳もあるため、正しい情報であるかを見極める力、検討した結果を正確に叙述する国語力も必要だ」という。調べる対象が多面的に広がることも多く、専門外の知識やこれまでの人生経験が役立つこともある。「ひとつの事柄から物事を深く掘り下げていける人材を育てたい」と学生の指導にも励んでいる。

※大陸浪人：明治時代以降、広くアジア地域に居住・放浪し、秘密情報工作などの軍事、政治活動を行っていた日本人。

Tom's History



経済学部資料室に製本して保管されている「ESTUDIO」。

と名付けたことにも表れています。平成元年に31号を発行後休刊していましたが、平成21年、20年ぶりに復刊しました。研究活動の発展を願う伝統が受け継がれることを期待します。

富山大学経済学部ゼミナール協議会(旧富山大学経済学部経済研究会)は、日本学生経済ゼミナールへの参加などの活動を行う学生主体の組織です。昭和33年から学生研究論文集「ESTUDIO」を発行しています。この論文集には毎号、学生の論文が6本前後(多いときで日本)とすべての卒業論文題目が掲載され、編集後記には当時の編集事情が語られています。その中には、投稿数が少なくなったことを残念に思い、経済学部の沈滞的な学風を批判したものもありました。この論文集の盛衰が学生の勉学意欲のバロメーターと考えていた彼らは、研究活動の活性化を強く望んでいました。彼らの熱い思いは、スペイン語で「研究」を意味する「ESTUDIO」と名付けたことにも表れています。

富山大学経済学部学生研究論文集『ESTUDIO』(エスツウディオ)

富山大学経済学部ゼミナール協議会(旧富山大学経済学部経済研究会)は、日本学生経済ゼミナールへの参加などの活動を行う学生主体の組織です。昭和33年から学生研究論文集「ESTUDIO」を発行しています。

この論文集には毎号、学生の論文が6本前後(多いときで日本)とすべての卒業論文題目が掲載され、編集後記には当時の編集事情が語られています。その中には、投稿数が少なくなったことを残念に思い、経済学部の沈滞的な学風を批判したものもありました。この論文集の盛衰が学生の勉学意欲のバロメーターと考えていた彼らは、研究活動の活性化を強く望んでいました。彼らの熱い思いは、スペイン語で「研究」を意味する「ESTUDIO」と名付けたことにも表れています。

TOM'S 薬箱

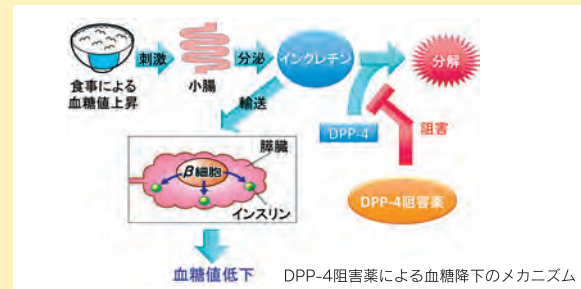
DPP-4阻害薬 ~糖尿病治療の救世主!?!~

手足がしびれる、眼が見えにくい・・・、ひよっとしたら糖尿病かもしれません。厚生労働省によると、日本の糖尿病患者数は予備軍も含め1990年には775万人でしたが、2007年には2,210万人に達しました。これは世界的な傾向であり、今後も増え続けると言われています。

食事により摂った炭水化物などは分解されてブドウ糖(グルコース)となって血液中に吸収され、一時的に血糖値(血液中の糖分の量)が上昇します。グルコースはインスリンというホルモンにより細胞に取り込まれ、エネルギーとして使われたり蓄えられたりするため、血糖値は一定範囲内に調節されます。しかし、インスリンは血糖値を下げる機能を持つ唯一のホルモンなので、その動きが悪くなると高血糖状態(血糖値の高い状態)が長く続き、その結果、神経障害や網膜症、腎症などの合併症が誘発されてしまいます。この高血糖状態を改善するために、インスリンの分泌量増加やインスリンの感受性低下改善などの作用を持つ様々な薬が開発されています。現在、インスリンを注射薬とするインスリン製剤をはじめ、スルホニル尿素剤、即効性インスリン分泌促進剤などが用いられています。ただし、これらの薬の中には副作用として空腹時にも血糖を下げてしまうものが多く、低血糖を引き起こすことがあります。低血糖状態になると、欠伸や空腹感、震えなどが生じ、さらに昏睡状態から死に至ることもあります。

最近、新しいタイプの血糖降下薬「DPP-4阻害薬」が開発されました。これは既存の薬とは異なり、血糖値が上昇

したときに小腸で分泌されるGLP-1とGIPという膵臓からのインスリン分泌を促進するホルモン(インクレチン)を分解するDPP-4というタンパク質の動きを阻害します。このことによりインクレチン量の低下が抑えられて、インスリン分泌量が増え、血糖値が下がります。この薬は高血糖時にだけ働くので低血糖の危険性が低くなっています。さらに、インスリンを分泌する膵臓のβ細胞を保護・増殖する作用があり、低下したインスリン分泌能の改善が期待されています。



開発されて間もないため、臨床データが少なく、今後、得られた臨床データを検証していく必要がありますが、DPP-4阻害薬が糖尿病治療における救世主となることを願っています。しかし、糖尿病は生活習慣病です。薬にたよる前に、食事や運動など日々の生活習慣を見直して、糖尿病にならないように気をつけることが大切です。

富山大学薬学部薬学科3年 市井 貴裕

この説明文は、平成22年度富山大学薬学部3年次総合薬学演習において、調査・発表された内容を一部抜粋し要約したものです。なお、糖尿病については厚生労働省のホームページで詳しく説明されていますので、ご参照下さい。
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/seikatu/tounyou/index.html>

富山大学を卒業してもう7年、私も気付けば30代。時が経つのは早いものです。私の父親も富山大学の工学部出身ということもあり、同じ道を進みました。学科は知能情報工学です。課題が多いときは、朝から授業を受けて、夕方家に帰り、夜また大学に戻って課題に取り組み、そのまま朝をむかえ、また授業を受ける...その繰り返しでした。なかなかハードでしたが、プログラミングを考えたり、グラフィック映像を作ったりと楽しく取り組めた課題も多く、充実感もありました。その中でヒューマン情報処理に興味を持ち、石井雅博先生の研究室に入りました。卒業論文への取り組みもやりがいのあるものでした。

卒業後は放送局に就職し、現在は北日本放送でラジオリポーターをしています。主に富山県内の様々な場所に出かけて、いろいろな情報を伝えるのが私の仕事です。大学在学中にアナウンサースクールに通ったことがこの仕事に就くきっかけでした。大学で学んだ知識が今の職業で活かされているのか今はまだわかりませんが、これからわかるかどうかわかりませんが、大学で勉強したこと、友達と遊んだり旅行したこと、サークルに参加したこと、時には悪ふざけも、その全てがどこかで何かに活かされていると思います。ですから、学生のみならず、寝る間も惜しんで(という言い過ぎかもしれませんが)いろいろな経験をしたいです。それが、勉強でも遊びでも何であつても、体力のあるうちに!



岡本 恭 おかもと きょう

北日本放送ラジオリポーター
平成16年3月 工学部卒業

Hello ハロー先輩

自分の自信となることを身につけよう

大学では造形建築科学コースで、住宅・公共建築の設計や店舗のインテリア計画などを勉強していました。卒業時代の思い出は本当にたくさんありますが、やはり一番の思い出は卒業制作です。卒業制作では新しい都市の中における公共空間のあり方、都市風景のあり方をテーマに、富山駅北口を敷地として複合商業施設の設計を行いました。制作にあたってはたくさんの人に協力してもらいました。お忙しい中アドバイスをくださった先生方や夜遅くまで手伝ってくれた先輩のみんな、そして励ましながら制作に取り組んだ同期のみんなには本当に感謝しています。卒業後は積水ハウス株式会社に就職し、現在は主に住宅設計などの仕事をしています。まだまだ新入社員

といったこともあり、先輩社員の手伝いや上司に分からないことを一つ一つ確認しながら仕事を進めています。分からないことが多く、やりがいを感じながら仕事に取り組んでいます。先輩の皆さんには、就職活動が難しい中で大変な苦労があると思いますが、焦らずに大学生活を笑顔で楽しんでほしいと思います。そして、自分の自信となることを何か一つ身につけてほしいです。社会に出て辛いことや厳しいことがあった時に自分を支えてくれるのは、楽しい思い出や自分に対する自信が大きいと思います。そして、積極的に色々な事にチャレンジして多くの知識、経験を得てください。仕事を始めるとそういった時間がなかなかとれないものです。自分の中にあるエネルギーをフルに使って、日々多くの事に励んでください。



島崎 貴人 しまさき たかと

積水ハウス株式会社 岡崎支店 設計課
平成22年3月 芸術文化学部卒業